

Book Review

評者：小出智一 公益社団法人地域医療振興協会
東京ベイ・浦安市川医療センター看護部 救急外来部門／
医療人材部 シミュレーションセンター

【看護管理まなびラボBOOKS】 看護師・医師を育てる経験学習支援 認知的徒弟制による6ステップアプローチ

著：松尾睦、築部卓郎／発行：医学書院
定価：2700円（本体2500円＋税10%）



経験学習を支えるかかわりのヒントに

おとなの学習の7割は経験によるものと言われていきます。（ロミンガーの法則）看護教育でも、学習において経験が重要視され、コルブのモデルなど、「経験学習」という言葉こそ根付いてきました。しかし学習者の経験のサポートをどのようにするのか、指導者としてどのように振る舞うべきかは、依然として指導者の暗黙知や経験知によるところが多かったのではないのでしょうか。

本書では、経験学習を支える指導者がどのようにステップをふみ、サポートするのかがわかりやすく言語化されており、医療の教育現場に認知的徒弟制に基づく経験学習支援を導入する指針とも言えます。

認知的徒弟制という概念に馴染みがなく、また、徒弟制という言葉から、厳しい上下関係などが連想され、違和感を覚える方もいるかもしれません。しかし読み進めれば、この概念は従来の教育とリンクするところがあり、すでに一部を実践していたことを知ることができます。

本書では、まず認知的徒弟制の概論を論じていますが、読者がイメージしやすいようにオリジナルの用語がわかりやすく表現されています。その後、それぞれ事例を挙げて6つのステップの導き方が掲載されてお

り、まさに実践での導入方法を確認することができます。まとめでは、認知的徒弟制に基づくワークシートや指導のチェックリストの掲載もあり、そのまま現場ですぐに実用できる設計となっています。

今、現場でよく用いられる技術チェックリストは、①見学した②指導があつてできた③1人でできるという項目だけであったり、経験回数や経験の有無のみを記載したりするというものが多いと思います。

しかしこうしたリストに、本書に掲載されている認知的徒弟制の質問票を組み合わせることによって、「学習」の経験がより意義をもつものとなります。学習者だけでなく、指導者も同時に成長する過程を歩むことができるツールがすでに作成されていることは大きな魅力です。

ご存知のように、ここ数年はコロナ禍によって、教育シーンの大きな変化が起きました。さらに多くの教育手法や考え方が普及し、何がベストかわからずどのようにかわるべきなのか指導に悩む方にまず読んでいただきたい書籍です。職位や職種を問わず、人を育てることについての基礎として多くの方にお勧めします。